



TUF GAMING

ASUS

More info:



COPYRIGHTについて

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容についてASUSは責任を負いません。

Copyright © 2021 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証も行いません。

- (1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- (2) ユーザーの個人情報やデータの損失
- (3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトをご用意しています。英語で表示される場合は「Japan/日本語」を選択してください。

<https://www.asus.com/jp/support/>

もくじ

| | |
|----------------------|----|
| 本マニュアルについて | 7 |
| このマニュアルの表記について | 8 |
| アイコン | 8 |
| 表記 | 8 |
| 安全上の注意 | 9 |
| ノートPCを使用する | 9 |
| ノートPCのお手入れ | 10 |
| 廃棄・リサイクルについて | 11 |
| バッテリーの安全に関する情報 | 12 |

Chapter 1: ハードウェアのセットアップ

| | |
|-------------|----|
| 製品の概要 | 16 |
| 上部 | 16 |
| 底面 | 21 |
| 右側 | 23 |
| 左側 | 24 |

Chapter 2: ノートPCを使用する

| | |
|-----------------------|----|
| 使用の手引き | 28 |
| ノートPCの充電 | 28 |
| ディスプレイパネルを持ち上げる | 30 |
| 電源ボタンを押す | 30 |
| タッチパッドの操作 | 31 |
| キーボードを使用する | 38 |
| ホットキー | 38 |
| Windows® 10キー | 40 |
| テンキーを使用する | 41 |

Chapter 3: Windows® 10環境で使用する

| | |
|---------------------------------------|----|
| 初めて使用する..... | 44 |
| スタートメニュー..... | 45 |
| スタートメニューを起動する..... | 47 |
| スタートメニューからプログラムを開く..... | 47 |
| Windows® アプリ..... | 48 |
| Windows®アプリと一緒に使用する..... | 49 |
| Windows® アプリのカスタマイズ..... | 49 |
| タスクビュー..... | 52 |
| スナップ機能..... | 53 |
| スナップホットスポット..... | 53 |
| アクションセンター..... | 55 |
| その他キーボードのショートカット..... | 56 |
| ワイヤレスネットワークへの接続..... | 58 |
| Wi-Fi..... | 58 |
| Bluetooth (特定モデルのみ)..... | 59 |
| 航空機内での使用について..... | 60 |
| 有線ネットワークへの接続..... | 61 |
| 動的 (ダイナミック) IP/PPPoEのネットワーク接続の設定..... | 61 |
| 静的 (スタティック) IPのネットワーク接続の設定..... | 62 |
| ノートPCの電源をオフにする..... | 63 |
| ノートPCをスリープ状態にする..... | 64 |

Chapter 4: Power-On Self-Test (POST)

| | |
|--------------------------------|----|
| Power-on Self Test (POST)..... | 66 |
| BIOSとトラブルシューティングにアクセスする..... | 66 |
| BIOS..... | 66 |
| BIOS Setupへのアクセス..... | 67 |
| システムの回復..... | 68 |
| 回復オプションを実行する..... | 69 |

Chapter 5: FAQとヒント

| | |
|---------------------|----|
| 安全に使用するためのヒント | 72 |
| ハードウェアに関するFAQ | 73 |
| ソフトウェアに関するFAQ | 76 |

Chapter 6: 付録

| | |
|--|----|
| DVD-ROM Drive Information | 80 |
| Blu-ray ROM Drive Information..... | 82 |
| 内蔵モデムの適応規格 (規格/プロトコルなど原文掲載) | 82 |
| Overview | 83 |
| Network Compatibility Declaration | 83 |
| Non-Voice Equipment | 83 |
| Federal Communications Commission Interference Statement | 85 |
| FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement..... | 86 |
| UL Safety Notices | 87 |
| Power Safety Requirement..... | 88 |
| TV Notices..... | 88 |
| Macrovision Corporation Product Notice | 88 |
| Nordic Lithium Cautions (for lithium-ion batteries) | 89 |
| CTR 21 Approval (for Notebook PC with built-in Modem) | 90 |

| | |
|---|----|
| Declaration of Compliance for | |
| Product Environmental Regulation | 92 |
| EU REACH and Article 33 | 92 |
| EU RoHS..... | 92 |
| Japan JIS-C-0950 Material Declarations..... | 92 |
| Ecodesign Directive | 93 |
| EPEAT Registered Products..... | 93 |
| Simplified EU Declaration of Conformity | 94 |
| 電気・電子機器に含有される化学物質の表示について..... | 95 |
| 回収とリサイクルについて..... | 96 |
| 筐体のコーティングについて..... | 96 |
| 日本国内での無線周波数帯のご利用について..... | 96 |
| 聴覚障害を防ぐため..... | 96 |
| RED RF Output table..... | 97 |

本マニュアルについて

このマニュアルには本機のハードウェアとソフトウェアについての説明が記載されており、以下のChapterから構成されています。

Chapter 1: ハードウェアのセットアップ

本機のハードウェアとコンポーネントについての説明が記載されています。

Chapter 2: ノートPCを使用する

本機の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 3: Windows® 10環境で使用する

本機でのWindows® 10の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 4: Power-On Self-Test (POST)

POSTを使用した本機の設定変更方法についての説明が記載されています。

Chapter 5: FAQとヒント

よくある質問とその回答・ヒントが記載されています。

Chapter 6: 付録

製品の規格や海外の法令についての説明が記載されています。

注意: 本書で使用されている名称は正式なものではない可能性があります。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要: 作業を完了するために従わなければならない事項です。

注意: 作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

警告: 作業を行う際、人体への危険を避けるため、または本機のコンポーネントへの損害、本機内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない事項です。

アイコン

タスクを完了するために使用するデバイスをアイコンで表しています。



= タッチパッドを使用します。



= キーボードを使用します。

表記

太字 = 選択するメニューや項目を表示します。

<> = 操作のために押す、キーボード上のキーです。

安全上の注意

ノートPCを使用する



本機は5～35℃の周辺温度でご使用ください。



入力定格は本機の底部に記載があります。ACアダプターが対応していることを確認してください。



使用中、または充電中に本機が高温になることがあります。火傷などの防止のため、本機を膝の上や体に近づけた状態での使用はお控えください。本機の稼働中は故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔は塞がないでください。



破損した電源コード、アクセサリまたはその他の周辺機器をご使用にならないでください。



電源がオンのまま本機を持ち運ばないでください。またキャリーバッグに入れたり、カバーをしたりしないでください。通気が悪くなり故障の原因となります。



本機を平らでない、不安定な場所に置かないでください。



本機をX線装置（ベルトコンベアー）に通すことは問題ありませんが、磁気センサーや磁気ワンドはお避けください。



多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。

ノートPCのお手入れ



本機のお手入れの際は、電源を切りACアダプターとバッテリーパックが取り外し可能なモデルであればバッテリーパックも取り外してください。清潔なスポンジまたは柔らかい布に研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。短絡または腐食を防止するため、シャーシまたはキーボードの隙間に液体が入らないようにしてください。



本体のお手入れに、シンナー・ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。



本機の上に物を置かないでください。



本機に強い磁気を近づけないでください。



液体・雨・湿気を避けてください。



本機をホコリや汚れの多い環境下に置かないでください。



本機をガス漏れの恐れがある場所で使用しないでください。



ディスプレイパネルに対する電磁波干渉を防止するため、ノートパソコンの近くに電源の入った電気デバイスを置かないでください。

廃棄・リサイクルについて



本機やバッテリー (該当する場合) を一般廃棄物として廃棄しないでください。本製品のコンポーネントの中にはリサイクルできるよう設計されているものがあります。なお、本製品は水銀ボタン電池を含む電子機器です。本製品を一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。



バッテリーを一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

バッテリーの安全に関する情報

バッテリーの保護

- 高電圧で頻繁に充電すると、バッテリーの劣化は早まります。また、モデルによってはバッテリー寿命を延ばすため、バッテリーを満充電後、バッテリー残量が約90%以上を維持できている場合、こちらを下回るまでバッテリー保護の機能が働き、その間は再充電を停止する場合があります。

注意: バッテリー保護の機能が働く場合、再充電を停止する目安は通常、90～99%の間ですが、これらの数値はモデルによって異なる場合があります。

- 高温な周辺環境でバッテリーを充電した場合、バッテリーの劣化や寿命を早める可能性があります。バッテリーが高温、オーバーヒート状態になると、充電に制限がかかり、停止する場合があります。こちらはバッテリー保護の機能によるものです。
- PC をシャットダウンして AC アダプターを取り外しても、わずかですが電力は消費されます。よって、次回起動時に以前使用していた際よりもバッテリー残量が減っている場合があります。

バッテリーのメンテナンス

- ノートPC を長期間使用しない場合は、バッテリーの充電はバッテリー容量の50%程度にし、端末の電源をオフにしてACアダプターとの接続もしないままにしてください。長期保管による過放電の影響を避けるため3か月に1回、バッテリー容量の50%程度まで再充電することをお勧めします。
- バッテリーの劣化を防ぐ為、高電圧での頻繁な充電はしないでください。常時、電源からACアダプター経由でノートPCへ給電している場合は、バッテリーへの負担を減らすため、少なくとも2週間に一度はバッテリー容量の50%程度まで放電することをお勧めします。特定のノートPCのモデルでは、ASUS Battery Health Charging 機能が搭載されているので、そちらを使用して、バッテリーの充電容量を設定頂く事も有効です。
- バッテリーに最適な保管環境は周囲温度が10°C~35°Cの間で、50%程度のバッテリー残量が維持された状態です。特定のノートPCのモデルでは、ASUS Battery Health Charging 機能が搭載されているので、そちらを使用して、バッテリーの充電容量を設定頂く事も有効です。
- バッテリー性能に影響が出る可能性がありますので、湿度が高い環境下では保管しないでください。また低温にさらされるとバッテリー内部の化学成分が劣化することがあります。一方、温度が非常に高い環境下では破裂する危険性があります。
- ノートPCおよびバッテリーそのものをラジエーター、暖炉、ヒーターなどの熱源の近くに置かないでください。温度が60°Cを超えるとバッテリーが破裂したり、薬液が漏れたり、火災の原因となることがあります。

Chapter 1:

ハードウェアのセットアップ

製品の概要

上部

注意: キーボードのレイアウトはお買い上げの国や地域により異なります。モデルによってノートPCの外観は異なります。



- 1 アレイマイク (特定モデルのみ)**
エコー除去、ノイズサプレッション、指向性録音機能を備えたアレイマイクです。音声認識性能が高くクリアな音声での録音が可能です。
- 2 マイク**
ビデオ会議や、ナレーション、オーディオの録音、マルチメディアアプリケーション等にご利用ください。
- 3 カメラインジケータ**
内蔵型カメラの使用時に点灯します。
- 4 カメラ**
内蔵カメラにより、画像の撮影と動画の録画ができます。
- 5 ディスプレイパネル**
本製品のディスプレイパネルは画像や動画、その他マルチメディアファイルの参照に卓越した視認性を発揮します。
- 6 通気孔**
通気孔により、本機に冷たい空気を取り入れることができます。

警告: 故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔は絶対に塞がないでください。

7 キーボード

クウォーティー (QWERTY) 配列のキーボードには十分なストロークを持たせてあり、パームレストが付いているため快適な操作が可能です。また、Functionキー <Fn>でのコマンドの実行も可能です。

注意: キーボードのレイアウトはお買い上げの地域により異なります。

8 Caps Lockインジケータ

点灯時はCaps Lockが有効になっています。有効になっているときは、入力される文字は大文字 (例、ABC) になります。無効になっているときは、入力される文字は小文字 (例、abc) になります。

9 ステータスインジケータ

本機のハードウェアの状態を表示します。



電源インジケータ

点灯時は本機の電源はオン、点滅時は本機はスリープモードに入っています。

バッテリーインジケータ

色でバッテリーの充電状況を表示します。表示内容は次のとおりです。

| 色 | 状態 |
|--------|--|
| ホワイト | ACアダプターが本機に接続された状態で、バッテリーの充電レベルは95%から100%です。 |
| オレンジ | ACアダプターが本機に接続され充電を行なっている状態で、バッテリーの充電レベルは95%未満です。 |
| オレンジ点滅 | ACアダプターが本機に接続されていない状態で、バッテリーの充電レベルは10%未満です。 |
| 点灯しない | ACアダプターが本機に接続されていない状態で、バッテリーの充電レベルは10%から100%です。 |

ドライブアクティビティインジケータ

内蔵の記憶装置にアクセスしている際に点灯します。

機内モードインジケータ

機内モードが有効になっているとき、このインジケータが点灯します。

注意: 機内モード有効時は、すべてのワイヤレス接続が無効になります。

10 電源ボタン

このボタンを押すと電源がオンになります。設定により本機をスリープ/シャットダウンなどに移行することもできます。

システムからの応答がなくなった場合は、電源ボタンを4秒以上(特定モデルでは10秒以上)押し、強制終了することができます。

11 テンキー

テンキーの入力方法は2つあり、数字キーと方向キーのいずれかで切り替えることが可能です。

注意: 詳細は、「テンキーを使用する」をご参照ください。

12 タッチパッド

指先を使用して、カーソルを移動したり画面に表示された項目を選択することができます。タッチパッドはマウスと同等の機能を提供するポインティングデバイスです。

注意: 詳細は「タッチパッドの操作」をご参照ください。

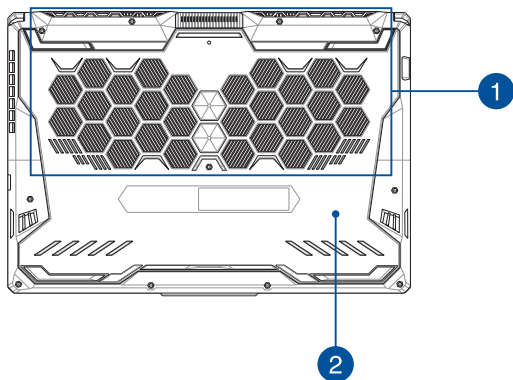
底面

注意: モデルによって底面の外観は異なります。

警告: 使用中、または充電中に本機が高温になることがあります。火傷などの防止のため、本機を膝の上や体に近づけた状態での使用はお控えください。本機の稼働中は故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔は塞がないでください。

重要:

- バッテリー駆動時間はコンピューターの使用法、仕様により異なります。バッテリーパックは分解できません。
- ASUS以外またはASUS非公認の第三者が製品に修理・変更・改ざんを加えた場合、これらに起因する不具合や故障に対し、保証サービスが受けられなくなる場合があります。詳細は保証書をご確認ください。



1 通気孔

通気孔により、本機に冷たい空気を取り入れ、熱を逃がすことができます。

警告: 故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔は絶対に塞がないでください。

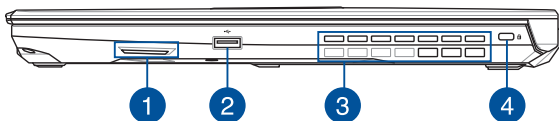
2 収納部カバー

このカバーは、リムーバブルSSD (M.2 2280スロット)、ハードディスクドライブ、メモリーモジュールなどの収納部を保護するためのカバーです。

注意:

- 保証対象外となりますので、部品交換などは行わないようにしてください。記憶装置の換装、増設に起因するトラブルはASUSのサポート対象外です。ご了承ください。
 - M.2 2280スロットはM.2 SATA SSDをサポートしていません。
-

右側

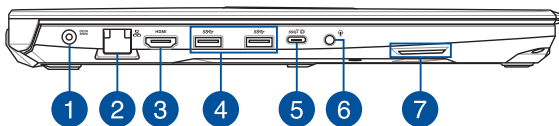


- 1 オーディオスピーカー**
本機搭載のスピーカーにより、Windows®のプログラムイベントなどのサウンドをご確認いただけます。
- 2 USB 2.0ポート**
USBポートはUSB2.0とUSB1.1の互換仕様となっており、キーボード、ポインティングデバイス、カメラ、ハードディスクドライブ、プリンター、スキャナーなどが接続できます。USB1.1接続は最大12Mbps、USB2.0接続は最大480Mbpsの転送速度に対応します。
- 3 通気孔 (特定モデルのみ)**
通気孔により、本機から熱を逃がすことができます。

警告: 通気孔からは高温の空気が排気されます。故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔は絶対に塞がないでください。

- 4 Kensington® セキュリティスロット**
Kensington®互換ノートPCセキュリティ製品と併用して、本機を固定することができます。

左側



1 電源入力ポート

付属のACアダプターを接続し、本機に電力を供給しバッテリーパックを充電します。

警告: ACアダプターは使用中高温になることがあります。使用中は、物などで覆ったり人体に接触させたりしないでください。

重要: 本製品付属のACアダプターおよび/または電源コード以外で本機に電力を供給しないでください。また、付属のACアダプターおよび/または電源コードを他の製品に使用しないでください。故障・事故の原因となります。※お使いのモデルにより付属は異なる場合があります。

2 LANポート

このポートにネットワークケーブルを接続し、ローカルエリアネットワーク (LAN) に接続します。

3 HDMI ポート

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) はTMDs (Transition Minimized Differential Signaling) をベースとする、非圧縮型デジタルオーディオ/ビデオインターフェースです。セットトップボックスやDVDプレーヤー、A/Vレシーバーなどのあらゆるオーディオ/ビデオソース、オーディオ、デジタルテレビ (DTV)、ビデオモニターに対応。標準型/エンハンス/HDビデオをサポートし、これらマルチチャンネルデジタルオーディオを1本のケーブルで転送します。

4 USB 3.2 Gen1 (USB 3.0) ポート

このUSB 3.2 Gen1ポートは、最大5 Gbpsのデータ転送速度を提供し、USB 2.0に下位互換性があります。

5 USB 3.2 Gen2 (USB 3.1 Gen2) Type-C®/DisplayPort コンボポート

このUSB 3.2 Gen2ポートは、最大10 Gbpsのデータ転送速度を提供し、USB 2.0に下位互換性があります。映像出力ポートを持つUSB Type-C®アダプターを使用して、外付けディスプレイに本機を接続することができます。

注意: このポートの転送速度はモデルによって異なる場合があります。

6 ヘッドホン/ヘッドセット/マイクジャック

オーディオ出力信号をスピーカーやヘッドホンに接続します。また、ヘッドセットや外付けマイクを接続することもできます。

7 オーディオスピーカー

本機搭載のスピーカーにより、Windows®のプログラムイベントなどのサウンドをご確認いただけます。

Chapter 2: ノートPCを使用する

使用の手引き

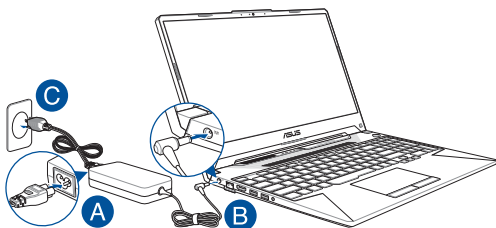
ノートPCの充電

- A. 電源コードをACアダプターに接続します。
- B. 電源コネクターをノートPCの電源入力ポートに接続します。
- C. ACアダプターを100V~240Vの電源に接続します。



初めてバッテリー電源で本機を使用する際は、3時間程度充電してください。

注意: モデルによってACアダプターの外観/仕様は異なる場合があります。



重要:

ACアダプターについて

- 入力電圧: 100-240V
 - 入力周波数: 50-60Hz
 - 定格出力電流: 15": 7.5A (150W) / 9A (180W)
17": 7.5A (150W)
 - 定格出力電圧: 15": 20V / 20V
17": 20V
-

重要:

- 入出力定格は製品本体に記載があります。ACアダプターが対応していることをご確認ください。モデルによっては、定格出力電流が複数設定されている場合があります。
- ノートパソコンに初めて電源を入れる前に、電源アダプターに接続されていることを確認してください。延長コードを使用せずに、電源コードを壁コンセントに必ず差し込んでください。安全のため、このデバイスは適切に接地されたコンセントにのみ接続してください。
- 本機をACアダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
- 主電源から本機を切断するには、電源コンセントから本機の電源コードを抜いてください。
- 本製品付属のACアダプターおよび/または電源コード以外で本機に電力を供給しないでください。また、付属のACアダプターおよび/または電源コードを他の製品に使用しないでください。故障・事故の原因となります。※お使いのモデルにより付属は異なる場合があります。

警告:

本機のバッテリーに関する警告事項をよくお読みください。

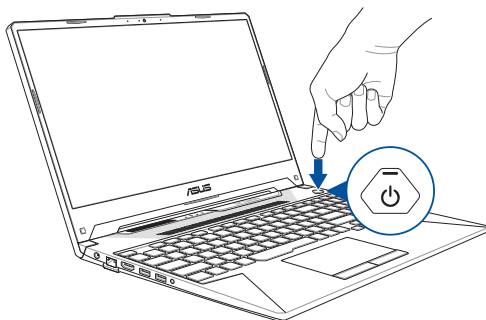
- 本機内蔵のバッテリーの取り外しはASUS公認の技術員のみ対応することができず (非着脱式バッテリーのみ)。
- 本機内蔵のバッテリーをお客様ご自身で取り外した、または分解した場合、火事または化学火傷の危険性があります。
- 取り扱いの際は警告ラベルの指示に従ってください。
- ASUS指定以外もしくは本機付属以外のバッテリーに交換した場合、破裂、発火、発熱の恐れがあります。
- バッテリーを火中へ投下する、火気へ近づける、加熱する、高温状態で放置するなどしないでください。
- バッテリーの回路をショートさせないでください。
- バッテリーを分解または改造しないでください (非着脱式バッテリーのみ)。
- 変形、変色、割れ、サビ、液漏れや異臭、異音などを起こしたバッテリーは直ちにその使用を中止してください。
- バッテリーは地域の条例等の指示に従ってリサイクル・処理してください。
- バッテリーおよびその他の部品は、子供の手が届かない場所に保管してください。

ディスプレイパネルを持ち上げる



注意: 放熱性を高めるため、ディスプレイパネルを60度以上開いた状態での使用をお勧めします。

電源ボタンを押す



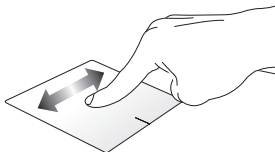
タッチパッドの操作

注意: ご使用のアプリによっては、以下で紹介する操作に対応していない場合があります。

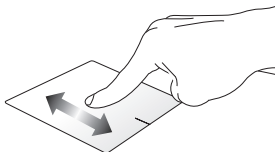
ポインタの移動

タッチパッド上をタップした後でそのまま指をスライドすると、画面上のポインタを移動することができます。

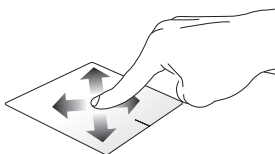
水平にスライド



垂直にスライド

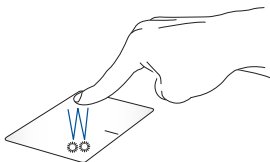


対角線上にスライド



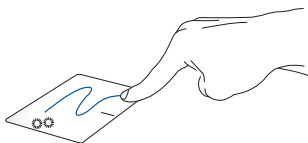
指1本での操作

タップ/ダブルタップ



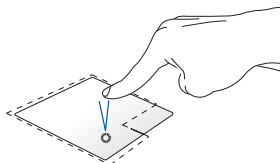
- アプリをタップし選択します。
- アプリをダブルタップし起動します。

ドラッグ&ドロップ



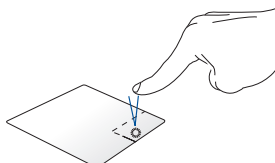
項目をダブルタップし、そのままスライドします。指先をタッチパッドから離すと、ドロップされます。

左クリック



- アプリをクリックし選択します。
- アプリをダブルクリックし起動します。

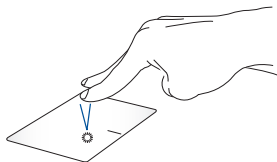
右クリック



このボタンを使用して、右クリックメニューを開きます。

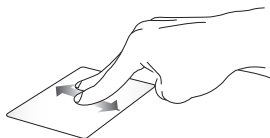
指2本での操作

タップ



指2本をタッチパッド上でタップすると、マウスの右クリックと同じ操作を行うことができます。

指2本でのスクロール (上下)



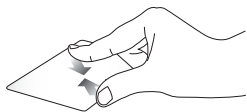
指2本で上下になぞると、ウィンドウが上下にスクロールします。

指2本でのスクロール (左右)



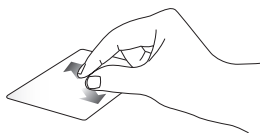
指2本で左右になぞると、ウィンドウが左右にスクロールします。

ズームアウト



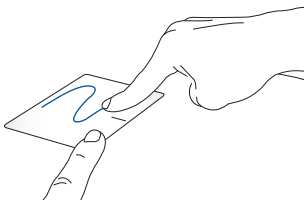
2本の指先の間隔を狭めることでズームアウトが可能です。

ズームイン



2本の指先の間隔を広げることでズームインが可能です。

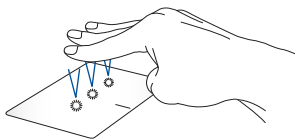
ドラッグ&ドロップ



項目を選択し、クリックしたままにします。もう1本の指でタッチパッドを目的の方向にスライドすると、項目を別の場所に移動することができます。

指3本での操作

タップ



指3本でタッチパッド上をタップすると、検索機能が起動します。

右/左方向になぞる



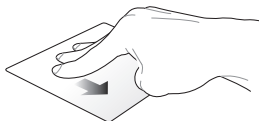
複数のアプリを開いている場合、3本の指を左また右方向になぞると、これらのアプリが切り替わります。

上方向になぞる



上方向になぞると、現在開かれているすべてのアプリの概要が表示されます。

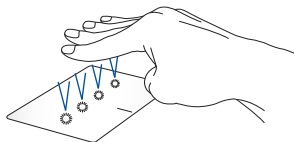
下方向になぞる



下方向にスライドするとデスクトップが表示されます。

指4本での操作

タップ



指4本をタッチパッド上でタップすると、アクションセンターが起動します。



タッチパッドのカスタマイズ



1. アクションセンターの「**すべての設定**」を起動します。
2. 「**デバイス**」→「**タッチパッド**」を選択します。
3. 好みの設定を行ないます。



キーボードを使用する



ホットキー



ホットキーについて説明します。コマンドは、通常、Function キー<Fn>を押しながらコマンドが表記されたキーを押して実行します。モデルによっては、設定によりコマンドが表示されたキーのみを押して実行、Function キー<Fn>を押しながらコマンドが表記されたキーを押して実行するかを切り替えることができます。

 +  ^{F11} スピーカーのオン/オフを切り替えます。

 +  ^{F12} スピーカーのボリュームを下げます。

 +  ^{F13} スピーカーのボリュームを上げます。



 +  ^{F14} マイクのオン/オフを切り替えます。

 +  ^{F15} ファンのモードを切り替えます。

 +  ^{F16} ディスプレイパネルのオン/オフを切り替えます。

 +  ^{F17} ディスプレイの明るさを下げます。

 +  ^{F18} ディスプレイの明るさを上げます。

 +  ^{F19} 表示モードを切り替えます。

注意: ノートPCに外付けディスプレイが接続されたときに利用できるコマンドです。



+



タッチパッドを有効または無効にします。



+



本機をスリープ状態にします。



+



機内モードのオン/オフを切り替えます。

注意: 機内モード有効時は、すべてのワイヤレス接続が無効になります。



+



ドロップダウンメニューを表示します。



+



キーボードの明るさを上げます。



+



キーボードの明るさを下げます。



+



Auraキーボードライティングエフェクト (左) を切り替えます。



+



Auraキーボードライティングエフェクト (右) を切り替えます。



+



Windows キーロックの有効/無効を設定します。

Windows® 10キー

キーボードには以下の説明のように、2つの特別なWindows® キーがあります。



スタートメニューを起動します。



ドロップダウンメニューを表示します。*

* 特定モデルのみ

* モデルにより Fn キーと同時押下が必要です。

テンキーを使用する

注意:テンキーのレイアウトはモデルや地域によって異なる場合がありますが、使用上の手順は同じです。

モデルによってはテンキーが搭載されています。テンキーは数字の入力と方向キーでの操作が可能です。



でテンキーを数字キーとして使用するか、方向キーとして使用するかを切り替えます。



Chapter 3: Windows® 10環境で使用する

初めて使用する

コンピューターを初めて使用するときは、Windows® 10 OSの基本設定を行う設定画面が表示されます。

設定手順

1. パソコンの電源ボタンを押します。設定画面が表示されるので、暫くお待ちください。
2. 設定画面から本機で使用する言語やモデルによっては地域、キーボードレイアウト、ネットワーク接続などを選択します。
3. 使用許諾契約を読み、内容を確認します。「**同意**」を選択します。
4. 画面上の指示に従い、以下などの表示される各基本設定を行います。
 - このPC用のアカウントの作成
 - Cortana の設定
 - プライバシー設定
5. 基本設定が完了すると、パソコンのセットアップが始まります。
6. セットアップが完了すると、Windows®の操作が開始できます。

注意:

- 本マニュアルに記載の図や画面は参考用です。
 - ご使用の国や地域、環境、モデルなどにより、手順に差異がある場合があります。その場合は、画面の指示に従って設定を進めてください。
-

スタートメニュー

スタートメニューでは、プログラムやWindows®アプリ、フォルダー、設定などに簡単にアクセスすることができます。

注意: モデルにより、表示されるユーザーインターフェイスが異なる場合があります。

ドキュメントを起動

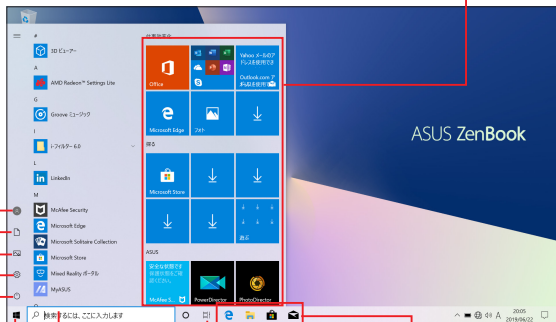
アカウント設定の変更、ロック、アカウントからサインアウト



ドキュメントを起動

アカウント設定の変更、ロック、アカウントからサインアウト

スタート画面からアプリを起動



検索機能を起動

タスクビューを起動

スタートメニューの起動

タスクバーからアプリを起動

シャットダウン、再起動、スリープ状態への移行

設定を起動


ピクチャを起動

スタートメニューからできる操作:

- プログラムやWindows® アプリの起動
- 一般的に使用されるプログラムやWindows® アプリの起動
- 本機の各種設定の変更
- Windows® OSのヘルプ
- 本機の電源オフ
- Windows® からのログオフ、または別のユーザーアカウントへの切り替え

スタートメニューを起動する



デスクトップの左下にあるスタートボタン  の上にマウスポインターを合わせ、クリックします。



キーボードのWindows® ログキーマ  を押します。


スタートメニューからプログラムを開く

スタートメニューの最も一般的な用途は、本機にインストールされているプログラムを開くことです。



プログラムの上にマウスポインターを合わせ、クリックし起動します。

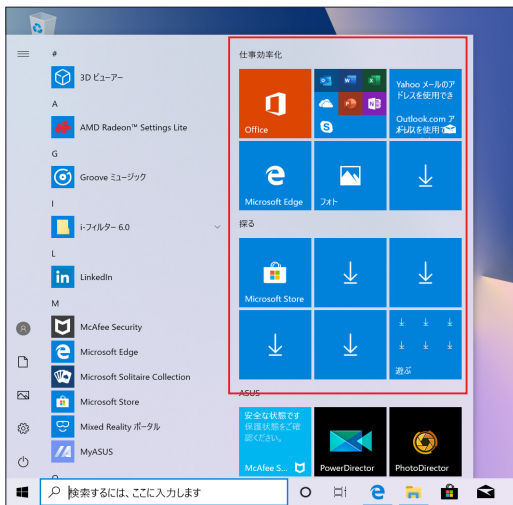


プログラムを参照するには、矢印キーを使用します。  を押し起動します。

Windows® アプリ

これらのアプリはスタートメニューの右側のペインにピン留めされ、タイル形式で簡単にアクセス可能です。

注意: 特定のWindows® アプリはその機能を十分活用するため、Microsoftアカウントでのサインインが必要になる場合があります。



Windows®アプリと一緒に使用する

タッチパッド、キーボードを使用し、アプリの起動やカスタマイズ、また、アプリを終了することができます。

スタートメニューからWindows® アプリを起動する



アプリの上にマウスポインターを合わせ、クリックし起動します。



アプリを参照するには、矢印キーを使用します。



を押して起動します。

Windows® アプリのカスタマイズ

スタートメニューでアプリの移動、サイズ変更、タスクバーからのピン留め、ピン留めの解除などが可能です。次の手順で行います。

アプリの移動



アプリの上にマウスのポインターを合わせ、ドラッグ&ドロップして移動します。

アプリのサイズ変更




アプリの上にマウスポインターを合わせ、右クリックして、「**サイズ変更**」をクリックし、アプリのタイトルサイズを選択します。



矢印キーでアプリを参照します。



または $fn +$  (特定モデルのみ) を押

し、「**サイズ変更**」をクリックし、アプリのタイトルサイズを選択します。

ピン留めの解除



アプリの上にマウスのポインターを合わせ、右クリックし、「スタートからピン留めを外す」をクリックします。



矢印キーでアプリを参照します。



または $fn +$



+



(特定モデルのみ) を押し、

「スタートからピン留めを外す」を選択します。



タスクバーにアプリをピン留めする



アプリの上にマウスのポインターを合わせ、右クリックし、「その他」→「タスクバーにピン留めする」をクリックします。



矢印キーでアプリを参照します。  または




 +  (特定モデルのみ) を押し、「その他」→「タスクバーにピン留めする」を選択します。

スタートメニューへのアプリの追加



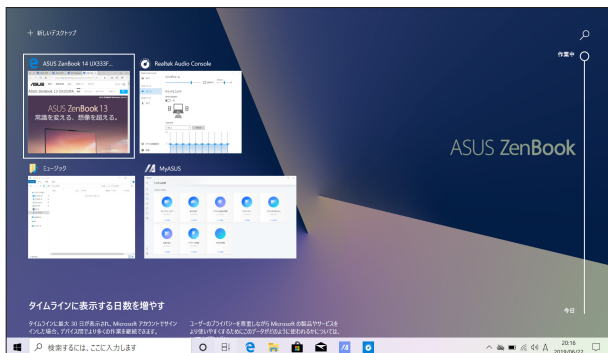
「すべてのアプリ」(モデルによっては「よく使うアプリ」以降) から、スタートメニューに追加したいアプリの上にマウスポインターを合わせ、右クリックし「スタートにピン留めする」をクリックします。



「すべてのアプリ」(モデルによっては「よく使うアプリ」以降) から、スタートメニューに追加したいアプリの上で  または  +  (特定モデルのみ) を押し、「スタートにピン留めする」を選択します。


タスクビュー

タスクビュー機能では、起動中のアプリとプログラムの切り替えが簡単にできます。また、デスクトップの切り替えも可能です。



タスクビューの起動



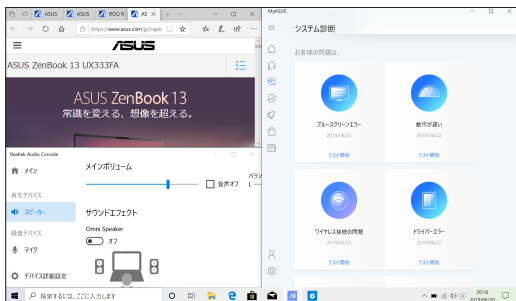
タスクバー上の  アイコンの上にマウスのポインターを合わせ、クリックします。



キーボード上の  +  を押します。

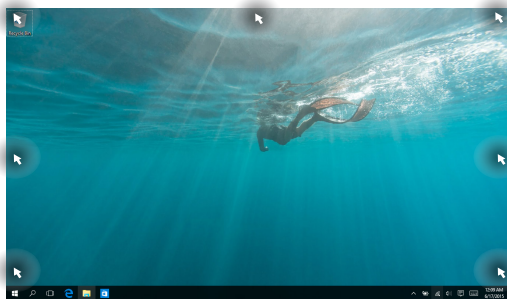
スナップ機能

アプリを同時に操作することができます。この機能を有効にすると、スナップした際にサイドバーが表示され、ディスプレイを分割します。



スナップホットスポット

ホットスポットにアプリをドラッグ&ドロップし、スナップ表示することができます。




スナップを有効にする



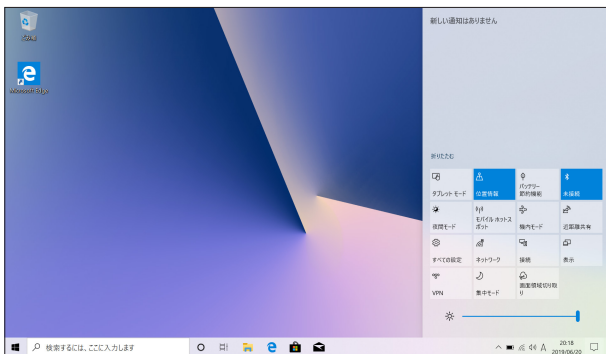
1. アプリを起動します。
2. アプリのタイトルバーをドラッグし、画面の端にアプリをドロップしスナップ表示します。
3. 他のアプリをスナップ表示するには、他のアプリを起動し、上記の手順を繰り返します。



1. アプリを起動します。
2.  を長押しし、矢印キーでアプリをスナップ表示します。
3. 他のアプリをスナップ表示するには、他のアプリを起動し、上記の手順を繰り返します。


アクションセンター

アクションセンターでは、アプリからの通知が一括表示されます。また、下部には大変便利なクイックアクションセクションがあります。



アクションセンターの起動











タスクバー上の  アイコンの上にマウスのポインタを合わせ、クリックします。



キーボード上の  +  を押します。

その他キーボードのショートカット

次のショートカットを使用し、アプリケーションの起動やWindows® 10の操作が可能です。

- | | |
|--|--------------------|
|  | スタートメニューを起動します。 |
|  | アクションセンターを起動します。 |
|  | デスクトップを起動します。 |
|  | エクスプローラーを起動します。 |
|  | 設定を起動します。 |
|  | 「接続する」画面を起動します。 |
|  | ロック画面を有効にします。 |
|  | アクティブウィンドウを最小化します。 |



検索を起動します。



「映す」画面を開きます。



「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを開きます。



「簡単操作」を開きます。



スタートボタンのコンテキストメニューを開きます。

ワイヤレスネットワークへの接続

Wi-Fi



ノートPCに搭載のWi-Fi 機能により、SNSを使用したアプリの共有、メールの閲覧、インターネットサーフィン等が楽しみいただけます。

重要: 機内モードでは、この機能は無効になります。Wi-Fi接続を使用する際は、「機内モード」をオフにする必要があります。

Wi-Fi 接続

次の手順でWi-Fi ネットワークに接続します。



1. タスクバーの  アイコンを選択します。
2.  アイコンを選択しWi-Fi を有効にします。
3. 利用可能なWi-Fi接続のリストからアクセスポイントを1つ選択します。
4. 「**接続**」を選択し、ネットワーク接続を開始します。

注意:

- Wi-Fi 接続を開始するときに、セキュリティキーの入力が求められる場合があります。
 - 特定モデルでは、5.2/5.3GHz帯をサポートする無線LANモジュールを搭載しておりますが、電波法により5.2/5.3GHz帯は屋内使用に限ります(5.2GHz帯高出力データ通信システムの基地局又は陸上移動中継局と通信する場合を除く)。
-

Bluetooth (特定モデルのみ)

Bluetoothデバイス間では、ファイル転送、インターネット接続やネットワーク接続の共有などが可能です。

重要: 機内モードでは、この機能は無効になります。Bluetooth機能を使用する際は、「機内モード」をオフにする必要があります。

Bluetooth対応デバイスとのペアリング

データ転送を可能にするために、他のBluetooth対応デバイスとノートPCのペアリングを行う必要があります。次の手順で、デバイスを接続します。



1. スタートメニューで「**設定**」を起動します。
2. 「**デバイス**」→「**Bluetoothとその他のデバイス**」の順に選択し、Bluetoothデバイスを検索します。
3. リストからデバイスを選択し、画面の指示に従いペアリングを行います。

注意: 一部のBluetooth対応デバイスでは、本機のパスコード入力を要求される場合があります。


航空機内での使用について

機内モードを有効にすると、無線接続は無効になります。


注意: 多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。

機内モードを有効にする




1. タスクバーから「**アクションセンター**」を起動します。
2.  アイコンを選択し、機内モードを有効にします。





 +  を押します。

機内モードを無効にする



1. タスクバーから「**アクションセンター**」を起動します。
2.  アイコンを選択し、機内モードを無効にします。



 +  を押します。

有線ネットワークへの接続

本機のLANポートを使用し、本機をLANネットワークやブロードバンドインターネット接続等の有線ネットワークに接続することができます。

注意: インターネット接続セットアップ時の詳細やサポートについては、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダ (ISP) にご確認ください。

設定を行うには、次の手順をご参照ください。


重要: 設定を行う前に、ネットワークケーブルで本機のLANポートとローカルエリアネットワークが接続されていることをご確認ください。

動的 (ダイナミック) IP/PPPoEのネットワーク接続の設定



1. 「設定」を起動します。
2. 「ネットワークとインターネット」を選択します。
3. 「イーサネット」→「ネットワークと共有センターを開く」を選択します。
4. お使いのLANを選択し、「プロパティ」を選択します。
5. 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」→「プロパティ」を選択します。
6. 「IPアドレスを自動的に取得する」→「OK」を選択します。

注意: PPPoE接続を使用する場合は、次の手順に進んでください。

7. 「ネットワークと共有センター」に戻り、「新しい接続またはネットワークのセットアップ」を選択します。
8. 「インターネットに接続します」を選択し「次へ」を選択します。
9. 「ブロードバンド(PPPoE)」を選択します。
10. ユーザー名、パスワード、接続名を入力し、「接続」を選択します。
11. 「閉じる」を選択し、設定を終了します。
12. タスクバーの  を選択し、上の手順で作成した接続を選択します。
13. ユーザー名とパスワードを入力し、「接続」を選択し、インターネットへの接続を開始します。

静的(スタティック)IPのネットワーク接続の設定





1. 動的IP/PPPoEのネットワーク接続の設定の手順1~5を行います。
2. 「次のIPアドレスを使う」を選択します。
3. ご利用のサービスプロバイダ提供のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。
4. 必要に応じ、優先DNSサーバーのアドレスと代替DNSサーバーのアドレスを入力し、「OK」を選択します。



ノートPCの電源をオフにする

次のいずれかの手順で本機の電源をオフにすることができます。



- スタートメニューを起動し、 → 「シャットダウン」を選択し、シャットダウンします。
- ログイン画面で  → 「シャットダウン」の順に選択します。





-  +  を押し、シャットダウンウィンドウを開きます。ドロップダウンリストから「シャットダウン」を選択し、「OK」を選択します。
- システムからの応答がなくなった場合は、電源ボタンを4秒 (モデルによっては10秒) 以上押し、強制終了することができます。



ノートPCをスリープ状態にする

次のいずれかの手順で本機の電源をスリープ状態にすることができます。



- スタートメニューを起動し、 → 「スリープ」の順に選択します。
- ログイン画面で  → 「スリープ」の順に選択します。



 +  を押し、シャットダウンウィンドウを開きます。ドロップダウンリストから「スリープ」を選択し、「OK」を選択します。

注意: 設定によっては電源ボタンを1度押してもスリープに移行することができます。

Chapter 4: Power-On Self-Test (POST)

Power-on Self Test (POST)

Power-on Self-test (POST) はシステム起動時に実行されるシステム自己診断テストです。

BIOSとトラブルシューティングにアクセスする

POST実行中は、本機のFunctionキー操作でBIOS Setupプログラムへのアクセス、トラブルシューティングの実行が可能です。詳細は以降の記載をご参照ください。

BIOS

Basic Input and Output System (BIOS) はシステムの起動に必要なハードウェアを制御するプログラムです。


BIOSのデフォルト設定は通常の使用環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。以下の状況以外では、デフォルト設定のままで使用することをお勧めします。

- システム起動時にエラーメッセージが表示され、BIOS Setupを起動するように指示があった場合。
- BIOS設定を必要とするコンポーネントをシステムに取り付けた場合。

警告: 不適切な設定を行うと、システムが起動しない、または不安定になるといった症状が出る場合があります。設定を変更する際は、専門知識を持った技術者のアドバイスを受けることを強くお勧めします。

BIOS Setupへのアクセス

次のいずれかの方法でBIOS Setupにアクセスすることができます。

- 本機を再起動し、POST中に  を押します。
- スタートボタンをクリックし、「設定」→「更新とセキュリティ」→「回復」を選択し、「PCの起動をカスタマイズする」の項目内で「今すぐ再起動」を選択します。再起動後、オプションの選択画面で「トラブルシューティング」→「詳細オプション」→「UEFIファームウェアの設定」→「再起動」を選択します。

システムの回復

本機の回復オプションを使用すると、システムを元の状態に復元する、または初期化や、トラブルシュートを実行することができます。

重要:

- 回復オプションを実行する際は、事前にすべてのデータファイルをバックアップしてください。
 - ネットワーク設定やユーザー名、パスワードなどの重要な設定は、メモを取る等して大切に保存してください。
 - 本機のリセットを行う前に、本機がACアダプターで電源に接続されていることをご確認ください。
-

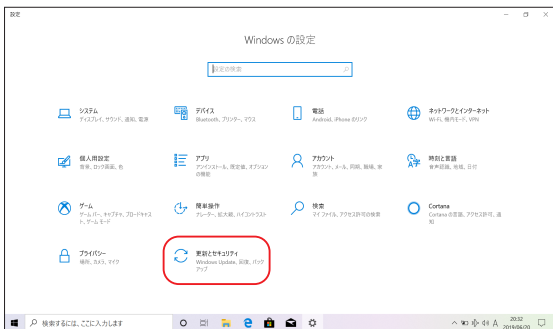
Windows® 10では次のトラブルシューティングを利用することができます。

- **個人用ファイルを保持する** - このオプションは、個人ファイル（写真、音楽、ビデオ、ドキュメント）に影響を与えずにWindowsが再インストールされます。
このオプションを使用すると、本機をデフォルト設定に戻し、インストールした他のアプリを削除します。
- **すべて削除する** - このオプションは、工場出荷時の設定にノートPCをリセットします。このオプションを実行する際は、事前にデータのバックアップを実行してください。
- **以前のバージョンに戻す** - 新しいバージョンを適用後に、何か不具合があった場合に、このオプションで以前のバージョンに戻すことができます。
- **PCの起動をカスタマイズする** - このオプションを使用すると、次のような高度な回復オプションを実行することができます。
 - 「**トラブルシューティング**」を使用し、次のうちの任意の回復オプションを利用することができます。
システムの復元、イメージでシステムを回復、スタートアップ修復、コマンドプロンプト、UEFI ファームウェアの設定、スタートアップ設定、更新プログラムのアンインストール。

回復オプションを実行する

次の手順に従って、利用可能な回復オプションを実行します。

1. 「設定」を起動し、「更新とセキュリティ」を選択します。



2. 「更新とセキュリティ」オプションで「回復」を選択し、回復オプションを選択し任意の項目を実行します。



Chapter 5: FAQとヒント

安全に使用するためのヒント

大切なデータを守り、安全に快適にご使用いただくためのヒントを記載しました。本製品の使用方法に関する記載と併せてお読みください。

- **Windows® Update:**
定期的にWindows® Update を実行し、Windows®を最新の状態でご使用ください。
- **アンチウイルスソフト:**
ウイルスからパソコンや大切なデータを守るため、ウイルス対策のソフトを利用しましょう。
- **強制終了・停電:**
突然の電源断などによる機器の停止は問題を引き起こす可能性があります。使用中はバッテリーをできる限り装着し、機器の停止時も正しいシャットダウンをしましょう。
- **バックアップ:**
本機が起動しないなど故障した際、大切なデータを取り出せなくなる可能性があります。定期的に外付けの記憶装置などへバックアップをお取りください。
- **環境温度:**
高温となる場所でのご使用は控えてください。長期間ノートPCを使用しない場合は、バッテリーを本体から取り外すことをお勧めします (着脱可能な場合)。
- **本機のリセット:**
リセットを行う際は周辺機器を周辺機器をすべて取り外し、次の項目がすべて揃っていることをご確認ください。
 - Officeアプリなどプロダクトキーが必要な場合は、そちらのプロダクトキー
 - バックアップデータ
 - ログインIDとパスワード
 - インターネット接続に必要な情報不明点がある場合は、ネットワーク管理者もしくはプロバイダーにお問い合わせください。

ハードウェアに関するFAQ

1. 液晶ディスプレイに黒い点や、常時点灯（赤、青、緑）している点がある

製品の品質には万全を期していますが、液晶ディスプレイにはごくわずかですが不完全な表示（ドット抜け）が発生する場合があります。これらは製品の品質を損なうものではありませんが、ASUSの提供する保証サービスが適用される場合がございます。詳しくは、製品に同梱の保証書もしくはASUSコールセンターまでご連絡ください。

2. 液晶ディスプレイの色や明るさにむらがある

液晶ディスプレイの構造上、見る角度や環境により、明るさや色にむらが見える場合があります。また、液晶ディスプレイの明るさや色合いはモデルによって異なる場合があります。

FunctionキーまたはOSのディスプレイ設定により画面の調整が可能です。

3. バッテリー駆動時間を長くする方法



以下の方法を推奨します。

- Functionキーで液晶ディスプレイの表示を暗くします。
- Wi-Fi 機能を使用しないときはFunctionキーで「機内モード」をオンにします。
- マウスやUSB機器など、使わない周辺機器は取り外します。
- 大きな負荷がかかるアプリの使用を避けます。



4. バッテリー状態表示ランプが点灯しない

- ACアダプターまたは充電されたバッテリーパック(特定モデルのみ)が正しく取り付けられているか確認してください。
- ACアダプターとバッテリーパック (取り外し可能なモデルのみ) を取り外し、1分以上待ってから再度入れて起動してください。
- それでも点灯しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

5. タッチパッドが使用できない

-  +  を押し、タッチパッドの有効/無効の切り替えをお試しください。
- マウスが接続されている場合は、マウス接続時にタッチパッドが無効になる機能が有効になっていないか確認し、もし、有効になっている場合は、マウスを取り外すか、こちらの機能を無効にしてください。

6. スピーカーから音が出ない



-  +  を押し、音量の調節などお試しください。
- ご使用のアプリなどで、ミュート設定になっていないかご確認ください。
- ヘッドホン出力用のジャックに何か接続されていないかご確認ください。接続されている場合は、そちらを取り外してください。

7. 消耗品の購入、ACアダプターをなくした際などの対応方法

コールセンターへご連絡、もしくはASUS Storeをご確認ください。

ASUS Store; <https://jp.store.asus.com/>

※URLは予告無く変更する可能性があります。

8. キー入力中にカーソルが移動し、正しくキー入力ができない
- お使いのモデルがタッチパッド搭載モデルの場合は、手のひらや洋服の袖などがタッチパッドに触れ、そのため、カーソル移動が発生している可能性があります。
 -  +  を押し、タッチパッドの機能を無効にし、キー入力をお試しください。
9. スリープモードを無効にしましたが、ディスプレイを閉じるとスリープモードに移行します。(特定モデルのみ)
- システムの負荷が高い場合、ディスプレイを閉じるとオーバーヒートを防ぐためにスリープモードに移行します。

ソフトウェアに関するFAQ

1. 電源インジケータは点灯しているが、ドライブアクティビティインジケータが点灯/点滅せず、本機が正常に起動しない
 - 電源ボタンを4秒 (モデルによっては10秒) 以上押し、電源を切り、ACアダプターとバッテリーパック (特定モデルのみ) が正しく取り付けられているか確認のうえ、再度、電源を入れてください。
 - それでも起動しない場合は、コールセンターへご連絡ください。
2. 「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示される
 - USBデバイスが接続されている場合は取り外してください。
 - 光学ドライブ搭載のモデルでは、CDなどが挿入されている場合はそちらを取り外します。
 - それでも起動しない場合は、記憶装置に何らかの問題が発生している可能性があります。コールセンターへご連絡ください。
3. 起動や動作が遅い
 - お買い上げ後にインストールしたアプリなどがありましたら、こちらの常駐の解除をお試しください。
 - 「設定」→「更新とセキュリティ」内の回復オプションから「このPCを初期状態に戻す」→「個人用ファイルを保持する」をお試しください。

4. 本機が起動しない/OSが起動しない

- 接続しているUSBデバイスなどをすべて取り外して、電源を入れてください。
- 機器本体の温度が上昇している場合は、過熱を防止するための機能が自動的に働いている可能性がありますので、しばらく待ってから再度、電源を入れてください。
- それでも起動しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

5. スリープ状態/休止状態から復帰しない

- 特定モデルでは、スリープ状態からの復帰には電源ボタンを押す必要があります。電源ボタンを押してください。
- バッテリー残量が少なくなっている、もしくは、完全に放電している可能性があります。ACアダプターを接続し電源ボタンを押してください。
- 一旦、電源ボタンを4秒 (モデルによっては10秒) 以上押し、機器を強制終了後、電源ボタンを押し、起動してください。なお、保存していないデータは失われます。

Chapter 6: 付録

DVD-ROM Drive Information

The DVD-ROM drive allows you to view and create your own CDs and DVDs. You can purchase an optional DVD viewer software to view DVD titles.

NOTE: The DVD-ROM Drive is available on selected models.

Regional Playback Information

Playback of DVD movie titles involves decoding MPEG2 video, digital AC3 audio and decryption of CSS protected content. CSS (sometimes called copy guard) is the name given to the content protection scheme adopted by the motion picture industry to satisfy a need to protect against unlawful content duplication.

Although the design rules imposed on CSS licensors are many, one rule that is most relevant is playback restrictions on regionalized content. In order to facilitate geographically staggered movie releases, DVD video titles are released for specific geographic regions as defined in "Region Definitions" below. Copyright laws require that all DVD movies be limited to a particular region (usually coded to the region at which it is sold). While DVD movie content may be released for multiple regions, CSS design rules require that any system capable of playing CSS encrypted content must only be capable of playing one region.

IMPORTANT! The region setting may be changed up to five times using the viewer software, then it can only play DVD movies for the last region setting. Changing the region code after that will require factory resetting which is not covered by warranty. If resetting is desired, shipping and resetting costs will be at the expense of the user.

Region Definitions

Region 1

Canada, US, US Territories

Region 2

Czech, Egypt, Finland, France, Germany, Gulf States, Hungary, Iceland, Iran, Iraq, Ireland, Italy, Japan, Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Saudi Arabia, Scotland, South Africa, Spain, Sweden, Switzerland, Syria, Turkey, UK, Greece, Former Yugoslav Republics, Slovakia

Region 3

Burma, Indonesia, South Korea, Malaysia, Philippines, Singapore, Taiwan, Thailand, Vietnam

Region 4

Australia, Caribbean (Except US Territories), Central America, New Zealand, Pacific Islands, South America

Region 5

CIS, India, Pakistan, Rest of Africa, Russia, North Korea

Region 6

China

Blu-ray ROM Drive Information

The Blu-ray ROM Drive allows you to view HD (High-Definition) videos and other disc file formats such as DVDs and CDs.

NOTE: The Blu-ray ROM Drive is available on selected models.

Region Definitions

Region A

North, Central and South American countries, and their territories; Taiwan, Hong Kong, Macao, Japan, Korea (South and North), South East Asian countries and their territories.

Region B

European, African, and South West Asian countries and their territories; Australia and New Zealand.

Region C

Central, South Asian, Eastern European countries and their territories; China and Mongolia.

NOTE: Refer to Blu-ray Disc website at www.blu-raydisc.com/en/Technical/FAQs/Blu-rayDiscforVideo.aspx for more details.

内蔵モデムの適応規格 (規格/プロトコルなど原文掲載)

The Notebook PC with internal modem model complies with JATE (Japan), FCC (US, Canada, Korea, Taiwan), and CTR21. The internal modem has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point. In the event of problems you should contact your equipment supplier in the first instance.

Overview

On 4th August 1998 the European Council Decision regarding the CTR 21 has been published in the Official Journal of the EC. The CTR 21 applies to all non voice terminal equipment with DTMF-dialling which is intended to be connected to the analogue PSTN (Public Switched Telephone Network).

CTR 21 (Common Technical Regulation) for the attachment requirements for connection to the analogue public switched telephone networks of terminal equipment (excluding terminal equipment supporting the voice telephony justified case service) in which network addressing, if provided, is by means of dual tone multi-frequency signalling.

Network Compatibility Declaration

Statement to be made by the manufacturer to the Notified Body and the vendor: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties."

Statement to be made by the manufacturer to the user: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties. The manufacturer shall also associate a statement to make it clear where network compatibility is dependent on physical and software switch settings. It will also advise the user to contact the vendor if it is desired to use the equipment on another network."

Up to now the Notified Body of CETECOM issued several pan-European approvals using CTR 21. The results are Europe's first modems which do not require regulatory approvals in each individual European country.

Non-Voice Equipment

Answering machines and loud-speaking telephones can be eligible as well as modems, fax machines, auto-dialers and alarm systems. Equipment in which the end-to-end quality of speech is controlled by regulations (e.g. handset telephones and in some countries also cordless telephones) is excluded.

This table shows the countries currently under the CTR21 standard.

| Country | Applied | More Testing |
|------------------------------|---------------|----------------|
| Austria ¹ | Yes | No |
| Belgium | Yes | No |
| Czech Republic | No | Not Applicable |
| Denmark ¹ | Yes | Yes |
| Finland | Yes | No |
| France | Yes | No |
| Germany | Yes | No |
| Greece | Yes | No |
| Hungary | No | Not Applicable |
| Iceland | Yes | No |
| Ireland | Yes | No |
| Italy | Still Pending | Still Pending |
| Israel | No | No |
| Lichtenstein | Yes | No |
| Luxemburg | Yes | No |
| The Netherlands ¹ | Yes | Yes |
| Norway | Yes | No |
| Poland | No | Not Applicable |
| Portugal | No | Not Applicable |
| Spain | No | Not Applicable |
| Sweden | Yes | No |
| Switzerland | Yes | No |
| United Kingdom | Yes | No |

This information was copied from CETECOM and is supplied without liability. For updates to this table, you may visit http://www.cetecom.de/technologies/ctr_21.html.

1 National requirements will apply only if the equipment may use pulse dialling (manufacturers may state in the user guide that the equipment is only intended to support DTMF signalling, which would make any additional testing superfluous).

In The Netherlands additional testing is required for series connection and caller ID facilities.

Federal Communications Commission Interference Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.

- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING! The use of a shielded-type power cord is required in order to meet FCC emission limits and to prevent interference to the nearby radio and television reception. It is essential that only the supplied power cord be used. Use only shielded cables to connect I/O devices to this equipment. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

(Reprinted from the Code of Federal Regulations #47, part 15.193, 1993.
Washington DC: Office of the Federal Register, National Archives and Records Administration, U.S. Government Printing Office.)

FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement

WARNING! Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with FCC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

UL Safety Notices

Required for UL 1459 covering telecommunications (telephone) equipment intended to be electrically connected to a telecommunication network that has an operating voltage to ground that does not exceed 200V peak, 300V peak-to-peak, and 105V rms, and installed or used in accordance with the National Electrical Code (NFPA 70).

When using the Notebook PC modem, basic safety precautions should always be followed to reduce the risk of fire, electric shock, and injury to persons, including the following:

- DO NOT use the Notebook PC near water, for example, near a bath tub, wash bowl, kitchen sink or laundry tub, in a wet basement or near a swimming pool.
- DO NOT use the Notebook PC during an electrical storm. There may be a remote risk of electric shock from lightning.
- DO NOT use the Notebook PC in the vicinity of a gas leak.

Required for UL 1642 covering primary (non-rechargeable) and secondary (rechargeable) lithium batteries for use as power sources in products. These batteries contain metallic lithium, or a lithium alloy, or a lithium ion, and may consist of a single electrochemical cell or two or more cells connected in series, parallel, or both, that convert chemical energy into electrical energy by an irreversible or reversible chemical reaction.

- DO NOT dispose the Notebook PC battery pack in a fire, as they may explode. Check with local codes for possible special disposal instructions to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion.
- DO NOT use power adapters or batteries from other devices to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion. Use only UL certified power adapters or batteries supplied by the manufacturer or authorized retailers.

Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, 0.75mm² or H05VV-F, 2G, 0.75mm².

TV Notices

Note to CATV System Installer—Cable distribution system should be grounded (earthed) in accordance with ANSI/NFPA 70, the National Electrical Code (NEC), in particular Section 820.93, Grounding of Outer Conductive Shield of a Coaxial Cable – installation should include bonding the screen of the coaxial cable to the earth at the building entrance.

Macrovision Corporation Product Notice

This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S.A. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Macrovision Corporation. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

Nordic Lithium Cautions (for lithium-ion batteries)

CAUTION! Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions. (English)

ATTENZIONE! Rischio di esplosione della batteria se sostituita in modo errato. Sostituire la batteria con un'una di tipo uguale o equivalente consigliata dalla fabbrica. Non disperdere le batterie nell'ambiente. (Italian)

VORSICHT! Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers. (German)

ADVARSEL!! Lithiumbatteri - Eksplosionsfare ved fejlagtig håndtering. Udskiftning må kun ske med batteri af samme fabrikat og type. Levér det brugte batteri tilbage til leverandøren. (Danish)

WARNING! Explosionsfara vid felaktigt batteribyte. Använd samma batterityp eller en ekvivalent typ som rekommenderas av apparattillverkaren. Kassera använt batteri enligt fabrikantens instruktion. (Swedish)

VAROITUS! Paristo voi räjähtää, jos se on virheellisesti asennettu. Vaihda paristo ainoastaan laitevalmistajan suositttelemaan tyyppiin. Hävitä käytetty paristo valmistagan ohjeiden mukaisesti. (Finnish)

ATTENTION! Danger d'explosion si la batterie n'est pas correctement remplacée. Remplacer uniquement avec une batterie de type semblable ou équivalent, recommandée par le fabricant. Jeter les batteries usagées conformément aux instructions du fabricant. (French)

ADVARSEL! Eksplosjonsfare ved feilaktig skifte av batteri. Benytt samme batteritype eller en tilsvarende type anbefalt av apparatfabrikanten. Brukte batterier kasseres i henhold til fabrikantens instruksjoner. (Norwegian)

注意: バッテリーの交換は正しく行ってください。破裂する危険があります。交換の際は、メーカーが指定したバッテリーをお使いください。また、廃棄の際は家庭ゴミとまとめて捨てずに、最寄の廃棄物処理施設等に問い合わせ、バッテリーの処分方法を確認してください。 (Japanese)

ВНИМАНИЕ! При замене аккумулятора на аккумулятор иного типа возможно его возгорание. Утилизируйте аккумулятор в соответствии с инструкциями производителя. (Russian)

CTR 21 Approval (for Notebook PC with built-in Modem)

Danish

•Udstyret er i henhold til Rådets beslutning 98/482/EF EU-godkendt til at blive opkoblet på de offentlige telefonnet som enkeltforbundet terminal. På grund af forskelle mellem de offentlige telefonnet i de forskellige lande giver godkendelsen dog ikke i sig selv ubetinget garanti for, at udstyret kan fungere korrekt på samtlige nettermineringspunkter på de offentlige telefonnet.

I tilfælde af problemer bør De i første omgang henvende Dem til leverandøren af udstyret.

Dutch

„Dit apparaat is goedgekeurd volgens Beschikking 98/482/EG van de Raad voor de pan-Europese aansluiting van enkelvoudige eindapparatuur op het openbare geschakelde telefoonnetwerk (PSTN). Gezien de verschillen tussen de individuele PSTN's in de verschillende landen, biedt deze goedkeuring op zichzelf geen onvoorwaardelijke garantie voor een succesvolle werking op elk PSTN-netwerkaansluitpunt.

Neem bij problemen in eerste instantie contact op met de leverancier van het apparaat.”

English

“The equipment has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.”

Finnish

”Tämä laite on hyväksytty neuvoston päätöksen 98/482/EY mukaisesti liitettäväksi yksittäisenä laitteena yleiseen kytkentäiseen puhelinverkkoon (PSTN) EU:n jäsenvaltioissa. Eri maiden yleisten kytkentäisten puhelinverkkojen välillä on kuitenkin eroja, joten hyväksyntä ei sellaisenaan takaa häiriötöntä toimintaa kaikkien yleisten kytkentäisten puhelinverkkojen liityntäpisteissä.

Ongelmien ilmetessä ottakaa viipymättä yhteyttä laitteen toimittajaan.”

French

•Cet équipement a reçu l'agrément, conformément à la décision 98/482/CE du Conseil, concernant la connexion paneuropéenne de terminal unique aux réseaux téléphoniques publics commutés (RTPC). Toutefois, comme il existe des différences d'un pays à l'autre entre les RTPC, l'agrément en soi ne constitue pas une garantie absolue de fonctionnement optimal à chaque point de terminaison du réseau RTPC.

En cas de problème, vous devez contacter en premier lieu votre fournisseur.

German

„Dieses Gerät wurde gemäß der Entscheidung 98/482/EG des Rates europaweit zur Anschaltung als einzelne Endeinrichtung an das öffentliche Fernsprechnetz zugelassen. Aufgrund der zwischen den öffentlichen Fernsprechnetzen verschiedener Staaten bestehenden Unterschiede stellt diese Zulassung an sich jedoch keine unbedingte Gewähr für einen erfolgreichen Betrieb des Geräts an jedem Netzabschlusspunkt dar.

Falls beim Betrieb Probleme auftreten, sollten Sie sich zunächst an ihren Fachhändler wenden.“

Greek

«Ο εξοπλισμός έχει εγκριθεί για πανευρωπαϊκή σύνδεση μεμονωμένου τερματικού με το δημόσιο τηλεφωνικό δίκτυο μεταγωγής (PSTN), σύμφωνα με την απόφαση 98/482/ΕΚ του Συμβουλίου· ωστόσο, επειδή υπάρχουν διαφορές μεταξύ των επιμέρους PSTN που παρέχονται σε διάφορες χώρες, η έγκριση δεν παρέχει αφ' εαυτής ανεπιφύλακτη εξασφάλιση επιτυχούς λειτουργίας σε κάθε σημείο απόληξης του δικτύου PSTN.

Εάν ανακύψουν προβλήματα, θα πρέπει κατ' αρχάς να απευθύνεστε στον προμηθευτή του εξοπλισμού σας.»

Italian

«La presente apparecchiatura terminale è stata approvata in conformità della decisione 98/482/CE del Consiglio per la connessione paneuropea come terminale singolo ad una rete analogica PSTN. A causa delle differenze tra le reti dei differenti paesi, l'approvazione non garantisce però di per sé il funzionamento corretto in tutti i punti di terminazione di rete PSTN.

In caso di problemi contattare in primo luogo il fornitore del prodotto.»

Portuguese

«Este equipamento foi aprovado para ligação pan-europeia de um único terminal à rede telefónica pública comutada (RTPC) nos termos da Decisão 98/482/CE. No entanto, devido às diferenças existentes entre as RTPC dos diversos países, a aprovação não garante incondicionalmente, por si só, um funcionamento correcto em todos os pontos terminais da rede da RTPC.

Em caso de problemas, deve entrar-se em contacto, em primeiro lugar, com o fornecedor do equipamento.»

Spanish

«Este equipo ha sido homologado de conformidad con la Decisión 98/482/CE del Consejo para la conexión paneuropea de un terminal simple a la red telefónica pública conmutada (RTPC). No obstante, a la vista de las diferencias que existen entre las RTPC que se ofrecen en diferentes países, la homologación no constituye por sí sola una garantía incondicional de funcionamiento satisfactorio en todos los puntos de terminación de la red de una RTPC.

En caso de surgir algún problema, procede ponerse en contacto en primer lugar con el proveedor del equipo.»

Declaration of Compliance for Product Environmental Regulation

ASUS follows the green design concept to design and manufacture our products, and makes sure that each stage of the product life cycle of ASUS product is in line with global environmental regulations. In addition, ASUS disclose the relevant information based on regulation requirements.

Please refer to <http://csr.asus.com/Compliance.htm> for information disclosure based on regulation requirements ASUS is complied with.

EU REACH and Article 33

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorization, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we publish the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://csr.asus.com/english/REACH.htm>.

EU RoHS

This product complies with the EU RoHS Directive. For more details, see <http://csr.asus.com/english/article.aspx?id=35>.

Japan JIS-C-0950 Material Declarations

Information on Japan RoHS (JIS-C-0950) chemical disclosures is available on <http://csr.asus.com/english/article.aspx?id=19>.

Ecodesign Directive

European Union announced a framework for the setting of ecodesign requirements for energy-related products (2009/125/EC). Specific Implementing Measures are aimed at improving environmental performance of specific products or across multiple product types. ASUS provides product information on the CSR website. Further information could be found at <https://csr.asus.com/english/article.aspx?id=1555>.

EPEAT Registered Products

The public disclosure of key environmental information for ASUS EPEAT (Electronic Product Environmental Assessment Tool) registered products is available at <https://csr.asus.com/english/article.aspx?id=41>. More information about EPEAT program and purchase guidance can be found at www.epeat.net.

Simplified EU Declaration of Conformity

ASUSTek Computer Inc. hereby declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU. Full text of EU declaration of conformity is available at <https://www.asus.com/support/>.

The WiFi operating in the band 5150-5350 MHz shall be restricted to indoor use for countries listed in the table below:

| | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| AT | BE | BG | CZ | DK | EE | FR |
| DE | IS | IE | IT | EL | ES | CY |
| LV | LI | LT | LU | HU | MT | NL |
| NO | PL | PT | RO | SI | SK | TR |
| FI | SE | CH | UK | HR | | |



電気・電子機器に含有される化学物質の表示について



資源有効利用促進法では、JIS C 0950: 2008 (J-Moss) の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報はASUSのサイト (<http://green.asus.com/english/>) に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」をご参照ください。

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートPC等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉碎され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

筐体のコーティングについて

感電などを防ぐため、本機は絶縁性のあるコーティング材を使用しています(入出力ポート搭載部分を除く)。

日本国内での無線周波数帯のご利用について

電波法により5.2/5.3GHz帯は屋内使用に限ります(5.2GHz帯高出力データ通信システムの基地局又は陸上移動中継局と通信する場合を除く)。

聴覚障害を防ぐため

イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧は、難聴などの聴覚障害の原因となる場合があります。ボリュームコントロールやイコライザーを基準値以外に設定した場合、イヤホンやヘッドホンの出力電圧が増加し音圧が高くなる場合があります。ご注意ください。



RED RF Output table

FX506

Intel AX200

| Function | Frequency | Maximum Output Power (EIRP) |
|-----------|-----------------|-----------------------------|
| WiFi | 2412 - 2472 MHz | 19 dBm |
| | 5150 - 5350 MHz | 19 dBm |
| | 5470 - 5725 MHz | 20 dBm |
| | 5725 - 5850 MHz | 11 dBm |
| Bluetooth | 2402 - 2480 MHz | 14 dBm |

Intel AX201

| Function | Frequency | Maximum Output Power (EIRP) |
|-----------|-----------------|-----------------------------|
| WiFi | 2412 - 2472 MHz | 20 dBm |
| | 5150 - 5350 MHz | 19 dBm |
| | 5470 - 5725 MHz | 20 dBm |
| | 5725 - 5850 MHz | 11 dBm |
| Bluetooth | 2402 - 2480 MHz | 11 dBm |

For the standard EN 300 440, if this device operates in 5725-5875 MHz, it will be considered as a receiver category 2.

MT7921

| Function | Frequency | Maximum Output Power (EIRP) |
|-----------|-----------------|-----------------------------|
| WiFi | 2412 - 2472 MHz | 20 dBm |
| | 5150 - 5350 MHz | 20 dBm |
| | 5470 - 5725 MHz | 17 dBm |
| | 5725 - 5850 MHz | 12 dBm |
| Bluetooth | 2402 - 2480 MHz | 12 dBm |

FX706

Intel AX200

| Function | Frequency | Maximum Output Power (EIRP) |
|-----------|-----------------|-----------------------------|
| WiFi | 2412 - 2472 MHz | 19 dBm |
| | 5150 - 5350 MHz | 20 dBm |
| | 5470 - 5725 MHz | 20 dBm |
| | 5725 - 5850 MHz | 12 dBm |
| Bluetooth | 2402 - 2480 MHz | 13 dBm |

Intel AX201

| Function | Frequency | Maximum Output Power (EIRP) |
|-----------|-----------------|-----------------------------|
| WiFi | 2412 - 2472 MHz | 19 dBm |
| | 5150 - 5350 MHz | 21 dBm |
| | 5470 - 5725 MHz | 21 dBm |
| | 5725 - 5850 MHz | 11 dBm |
| Bluetooth | 2402 - 2480 MHz | 10 dBm |

For the standard EN 300 440, if this device operates in 5725-5875 MHz, it will be considered as a receiver category 2.

MT7921

| Function | Frequency | Maximum Output Power (EIRP) |
|-----------|-----------------|-----------------------------|
| WiFi | 2412 - 2472 MHz | 19 dBm |
| | 5150 - 5350 MHz | 20 dBm |
| | 5470 - 5725 MHz | 18 dBm |
| | 5725 - 5850 MHz | 12 dBm |
| Bluetooth | 2402 - 2480 MHz | 11 dBm |

Blank lined area for notes or content.

